

平成28年10月14日（総16第22号）
在デンパサール日本国総領事館

1 治安情勢

(1) テロ関連情報

インドネシア治安当局は、中部スラウェシ州ポソ山間部において、MIT（東インドネシアのムジャヒディーン）の掃討作戦を続けている他、各地でテロに関連または計画していた容疑者を逮捕するなど、テロの疑いのある動きに対して監視等を強化しています。

テロはいつでもどこでも発生する可能性があります。引き続き、最新の治安情勢等の関連情報を入手し、日頃から危機管理意識を高く持つよう努め、特にテロの標的となりやすい場所（ナイトクラブなど多くの欧米人が集まる場所、ショッピングモール等不特定多数が集まる場所、政府・警察関係施設、宗教関連施設等）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

(2) デモに注意

最近、各地においてブノア湾埋め立てに対する抗議デモが開催されています。現在までのところ大きな混乱等は発生していませんが、今後過激化する可能性もあり注意が必要です。デモ情報に接した場合には、現場には極力近づかないようにするとともに、もしデモ隊らしき集団を見かけたらその場から離れる等、自身の安全確保を心がけてください。

2 一般情勢

(1) デング熱

当地保健当局によれば、バリ州でのデング熱感染者数は減少傾向にあるものの、毎月数名の死亡者が報告されており引き続き注意が必要です。デング熱には予防接種もなく、蚊に刺されないようにすることが唯一の予防策です。外出の際は長袖・長ズボンを着用する、虫除けスプレーを使用する等防蚊対策を徹底するとともに、体調管理により抵抗力を保つ等、予防に努めてください。

(2) ジカ熱

先般、スマトラ島にてジカ熱の感染が確認されたところですが、当地保健当局によれば、バリ州内での感染は現在のところ確認されていないとのことです。ジカ熱を媒介する蚊はデング熱と同じネッタイシマカやヒトスジシマカですので、予防には蚊に刺されないようにすることが最善の予防策です。

(3) 麻薬・薬物への注意

バリ州各地において、引き続き、インドネシア人、外国人を問わず麻薬・薬物関連の逮捕事案が続いています。インドネシア当局は薬物違反事件の摘発を推進しており、また、外国人に対しても死刑を含む重い判決を下すなど、薬物犯罪に対し厳しい姿勢で臨んでいます。麻薬・薬物には絶対に関与しないようにしてください。また、薬物が蔓延しているような危険な場所には近寄らないことをお奨めします。

3 邦人事件・事故関係

夜間の繁華街などで強盗まがいの集団スリやひったくりなどの被害が引き続き頻発しています。貴重品は出来るだけ持ち歩かない等、所持品の管理に注意し、徒歩での移動の場合には周囲に十分警戒してください。

・午後2時頃、クタ・マタラム通りで、男性旅行者が後方からきたオートバイ2人乗りに手提げ鞆をひったくられた。

・夜9時頃、クタ・レギャン通りで、旅行者グループの1人が、客引きに強引に体を掴まれるなどされ、ポケット内の財布等を盗まれた。

・夜9時頃、デンパサール市セセタン通りのレストラン外テーブルで、座席に置いた鞆をオートバイ2人乗りに盗まれた。

・深夜1時頃、クタ・ポピーズ通りで、男性旅行者が10人程度の集団に取り囲まれ、所持品を盗まれた。

4 その他（緊急連絡網訓練の実施）

9月21日、バリ日本人会、日本語補習授業校、JTOA、NTB日本人会を対象とした緊急連絡網訓練を実施いたしました。結果は、短時間の間に約600名の方々に想定情報を伝達することが出来、概ね良好でした。

今後とも有事に備えた連絡網の整備、個々に連絡手段の確認など継続して行っていただくようお願いいたします。ご協力ありがとうございました。

以上